

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

11月号／2010年11月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

10月通常例会・第1回臨時総会

平成22年
10月14日(木) テーマ「中核都市・いわき市の現状と行政サービス」 ○会場
いわき市行政監査事務局 代表 仲野 治郎 様 いわき建設会館 5F



10月例会は、10月14日(木)午後7時半よりいわき建設会館5F会議室にて開催されました。

講演会(詳細は後程)の後、10月通常例会・第1回臨時総会が行われました。寺主代表幹事の挨拶の後、議長小野副代表の元、次年度代表幹事選考について、審議された。松崎副代表より選考規定に基づいて正副代表経験者会議並びに幹事会において、選考された事を報告があり、次年度代表幹事予定者として現代表幹事 寺主君男氏の推薦されたことが報告され、現代表幹事 寺主君男氏の継続就任が満場一致で承認されました。

【講演会の内容】

江戸時代の藩政なら、役職は大目付。勧善懲惡の時代劇ならいざ知らず、今日の行政監査委員は行財政問題から組織のあり方、市民生活や公共施設、都市計画など、全体的にきめ細かくチェックする役職に携わる。(議会から2人・税理士1人・市職員OB1人から構成)

「いわき市の現状と課題」について、

1. 健全な財政運営について
 2. 少子高齢化社会がもたらす影響
 3. 都市部の街づくりと中産幹部の生き残り
- の三点に問題点を絞ってご講演を頂きました。

10月誕生月プレゼント

ジャーマンガーデンマンが贈られました



左から佐久間一枝さん(10/2生)、安田友紀さん(10/27生)、寺主代表幹事

演題「中核都市いわき市の現状と行政サービス」

講師：いわき市行政監察委員代表 仲野治郎氏

地方自治体をめぐる課題といわき市の現状

1 健全な財政運営について

- (1) なぜ財政問題がいつも行政の課題となっているのか、なぜ赤字を抱えてしまうのか。
 - ① 収入に応じた支出ができていない。
 - ② 起債制度について
 - ③ 行政の長期的視点を妨げる要因
- (2) 国と地方の借金
 - ・2010(平成22)年度末の国の債務残高は973兆1,625億円となる見通し。
(国民一人当たりの借金は763万円)
 - ・2004年度末の国の借金781兆円は、2005年度の税収見通し約44兆円の18倍にあたる。
 - ・2004年度末で地方の債務と合わせると、国と地方の借金総額は、初めて1,000兆円を突破(1,042兆円6,788億円)した。
- (3) いわき市の場合
 - ① H21決算の市債残高は1,344億円～年間予算規模並み
国は、H22当初92兆円の予算規模で、900兆円超の残高(約10倍)
 - ② 行財政改革～3つの目標(基金残高、職員数削減、市債残高)
公共施設のあり方
 - ③ 市立病院問題

2 少子高齢化社会がもたらす影響～人口減少社会への対応

- (1) 少子化について
- (2) 高齢化について(医療と福祉の現状と課題)
- (3) 人口動向
 - 平成22年9月1日現在、県の人口は203万人で、12年連続の減。最も多いかった平成10年当時の214万人から12年間で10万人以上の減。
 - 国の人口は平成17年(2005)年がピークで、平成58年(2046年、36年後)には1億人を割る(9,938万人)

○ いわき市の今月10月1日現在の現住人口は342,710人。

○ いわき市は平成11年(1999年－361,934人)以降人口減が続いているが、総合計画では、10年後の平成32(2020)年には、311,288人、15年後の平成37(2025年)には、293,284人と30万人を割り込み、20年後の平成42(2030)年には、274,321人と推計している。

(4) 人口減少社会への対応

- ① 定住人口と交流人口の両面からの対策
平成22年3月31現在～移住実績41世帯90人
(定住:31世帯73人、二地域居住:10世帯17人)
- ② 地域市場に依存する産業の盛衰に関する
- ③ 都市づくりにおける拡散傾向の抑制
- ④ 交通手段の確保と車に依存しないまちづくり
- ⑤ 郊外型住宅団地等における高齢化の進展

3 都市部の街づくりと中山間部の生き残り

- (1) 都市部～コンパクトシティ
 - 自動車利用を前提としたスプロール的な都市拡大は、20世紀の都市の大きな特徴。
 - 地球環境問題、都市中心部の活気の維持、効率的な公共投資、そしてなによりも都市の機能を強め、都市生活の魅力と生活の質を守り高めるために、コンパクトシティはわかりやすい解決策となっている。
 - これからの中の都市計画が進むべき方向
伝統的な市街地空間の価値の継承、自動車偏重の交通システムからの脱却、持続可能な地域社会の実現などではないか。
- (2) 中山間部
 - コミュニティ機能の維持

4 その他

- (1) 人間関係の希薄化など
- (2) 行政組織のあり方

える公共施設の6割が、耐用年数を超えており、本当に必要なものは？

支所・出張所・公民館を整理統合し、より良い行政サービスとは？を考えてほしい。

豊かな自然環境に育まれた歴史と文化に誇りを持ち、次世代に引き継ぐためにも少子高齢化のかかる問題点を整理し、教育・交通・医療・コミュニティ機能の充実をはかり、コンパクトシティーと行政サービスの向上を目指して欲しいものです。

講演を聴いて感じたことは、関係する市民や議員・行政は、それぞれに既得権益を論じ、いつまでも「見ざる・聞かざる・言わざる」で先送りしていく解決されない。何をすべきか？であり、安易に外部コンサルタントに委託するのではなく、住民の声を反映できる形で議論し「市民にとって住みやすい中核都市いわき」を考えた行政の運営をしてほしいと言いました。税収が減少なら、いかに支出を減らし必要なところに重点配分するか？ではないか。医師不足と市立病院の経営問題。解決すべき要因は？患者を置き去りにしないように。1000を超

10月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 10月28日(木曜日)18:30~
 ■場 所 いわき建設会館4F

●内 容 10月度グループ会は「我社の誇るこんなルール」というテーマで行う予定でしたが、出席予定者が少なかった上に当日キャンセル者が出てしまい、4名まで減ってしまいましたので急きよ中止とさせていただきました。

そこで11月は同じテーマで2日開催予定を組みまして、各会員がどちらかに出席できるような態勢を取って臨みたいと考えております。

経営品質向上グループ会

■日 時 10月19日(火曜日)18:30~
 ■場 所 いわき建設会館3F会議室

●内 容 当会常任幹事のみらい経営研究所所長 大和田宏様を講師に迎え、最近の景気動向を説明いただきながら、「弱者が強者に勝つランチェスター市場戦略」について講演をいただきました。実際に講師が体験した事例をもとに講演が進められ、今まで、理解しにくかった「ランチェスター市場戦略」がより身近な戦略、手法であると感じました。

1. 戰いは強い者が勝つ
2. 戰いには戦いかたがある
3. まず敵を知れ
4. 弱者は市場を細分化して一点集中で占有率No.1をつくれ
5. 何を武器にどこでどう戦うのか、その戦略は社長が自分で決めること！



経営計画書をよく検討して作り、適切な経営方針を貫く、経営者としての心構えの大切さを実感いたしました。今回の講演は大変有意義なものとなりました。

スポーツ交流グループ会

■日 時 10月27日(水曜日)9:00集合
 ■場 所 大洗ゴルフ俱楽部 9:31スタート

●内 容 会員相互の交流促進と健康増進を目的として、スポーツ交流グループ会は、会員増強委員会と合同で、ゴルフコンペを開催いたしました。

ひめゆり総業様のバスをお借りし朝7時に、茨城県大

洗町にある、名門コース、大洗俱楽部を目指しました。

到着後、山口副代表より、「快晴の中素晴らしいゴルフ場でのプレイを満喫してください」とご挨拶頂きました。阿部副グループ長より、ルール説明の後、5組に分かれて、スタートしました。午後4時にはホールアウトして、表彰式に臨みました。

表彰式にて、安島副代表のご挨拶後、順位発表、優勝者のスピーチと続き午後5時に終了し帰路につきました。

優勝 安島副代表幹事

準優勝 鈴木敏広さん

3位 根本百代さん

4位 稲葉広直さん

5位 山口副代表幹事



資質向上グループ会

■日 時 10月23日(土曜日)9:00~
 ■場 所 内郷→湯本→遠野方面

前日までの雨と異なり、晴天に恵まれた初秋の一日をアクティブに行動。下記の歴史と文化財を拝観・見学。白水阿弥陀堂では、弁舌軽やかな説明を受け国宝のすばらしさと周囲の景観に見入った。石炭化石館ほるるでは、学芸員によりフタバザウルス・スズキイの説明を受け改装された館内にタイムスリップ、臨場感溢れるダイナミックな空間を楽しむ。模擬坑道や生活館では、採炭の歴史を参加者の時代と摺り合せながら見学する。

湯本市街地のいわきの成田さん勝行院では県の重要文化財・木造釈迦如来坐像等を拝観。参加者全員、三重塔から見えるほるるの方向の町中に湯本地区の歴史を感じていた。岩崎地区の金比羅大権現宮を拝観、西郷地区にある袋中上人ゆかりの能満寺に移動。国宝・木心乾湿虚空蔵菩薩坐像（東大寺仏）を拝観。歴史の重みを感じると共に袋中上人の足跡を偲び、沖縄での布教活動がジャンガラ念佛との交流に結びついている事を確認。渡辺・初田宿を左に、中釜戸のシダレモミジ（国天然記念物）を間近に拝観。紅葉には2週間程先と思われるが、一同見事な樹形に声も無く…。時期を見てぜひ再訪を誓った。

昼食に遠野・坂本屋にて鰻を食す。手作り味噌の味噌汁・こんにゃく・ジュウネン汁のうどんなどは鰻の美味しさを引き立て、腹を満たすと共に各自の弁舌を滑らかにした。

昼食後鮫川渓谷・龍神峠に向かい、清流・激流・風光

明媚に感嘆する。足を速め
て遠野中心街の円通寺に。
先に連絡していた相川住職
が待ちかねていたよううに、
挨拶もそこそこに円通寺の
歴史の説明に始まり、木造
聖観音菩薩坐像(県重文)他



徳川幕府からの朱印状や
秘仏など…、数々の文化財を拝見させて
いただいた。



いわき市考古資料館で事前に連絡して
いたので館長が待機して頂いた。いわき
市の有形無形の文化財を体系的に、展示

11月グループ会ご案内

- 経営秘訣研究グループ会／11月25日(木) PM6:30～
建設会館 4F 会議室
今月のテーマ「我が社の誇るこんなルール」
- 経営品質向上グループ会／11月12日(金) PM3:30～
パレスいわや アルパインビジネスサービス株主催
演題:実例から学ぶ「会社が変わる!直ぐに使える人事労務7つの手法」
講師:あすか社会保険労務士法人 代表 菊地秀明氏
- スポーツ交流グループ会／11月25日(木) PM7:00～
会員交流ボーリング大会 スポルト平
- 資質向上グループ会／11月27日(土) AM8:30～
平・菅波の大國魂神社を中心に専称寺・如来寺の
歴史と文化 四ツ倉長友館と長隆寺・玉山恵日寺
・薬王寺歴史と文化財
- いわきブランド研究会／未定
- 政策提言室／未定

会員はどのグループ会にも出席できます。
グループ長にお申し込み下さい。

資料を説明しながら案内して頂いた。

白水阿弥陀堂・ほるる・勝行院・金比羅宮・能満寺・
シダレモミジ・龍神峠・円通寺考古資料館と強行軍でしたが、「いわきの歴史と文化財」その重みを感じた1日でした。

いわきブランド研究会

■ 日 時 10月 8 日(金曜日)13:30～
■ 場 所 いわき商工会議所 会議室

● 内 容 テーマ「いわき潮目ブランド推進事業」におけるいわき経済同友会ブランド研究会と商工会議所との役割分担について 去る10月8日いわき商工会議所にて、いわき商工会議所から、小林、小野、佐藤の3名と当ブランド研究会より武藤、須藤、吉田の出席にて上記のテーマについて懇談致しました。

今後、更なる事業の推進に向け両者の役割分担を明確にすると共に商工会議所より現在、福島県緊急雇用創出基金事業にて、いわきの水産物、及び加工品の普及拡大に向けた実態調査の予算が計上された事などの報告を受け、それらをブランドの推進事業に有効利用できないか協議いたしました。

(社)いわき青年会議所との懇談会開催

10月12日(火)、イタリアンコートにおいて、(社)いわき青年会議所の皆さんとの懇談会が開催されました。



当会からは寺主代表幹事をはじめとして12名、いわき青年会議所からは箱崎理事長をはじめとして12名の参加を頂きました。安島副代表の乾杯の発声で懇親会に入った。

11月通常例会・公開講演会開催

11月30日(木)

18:20～ 会食 18:40～ 例会
19:00～ 講演会

テーマ(仮)「～今、中小企業はなにをなすべきか！～
最近の経済情勢と中小企業経営のあり方」

帝京大学経済学部経営学科 教授 黒崎 誠氏

※ 準備の都合上、出欠は11月19日(金)までにFAXまたはメールにてご連絡をお願い致します。

会員の皆様には、ご多忙のことと思いますが、会員の皆様のご出席頂きますようご案内申し上げます。

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発 行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編 集 情報委員会 委員長 山名二郎
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭
委 員／田村慎太郎

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp